

政策評価調書(2年度実績)

政策名	スポーツの振興	政策コード	Ⅲ-3	関係部局名	教育庁、企画振興部、福祉保健部
-----	---------	-------	-----	-------	-----------------

【Ⅰ. 政策の概要】

ライフステージに応じたスポーツの推進や県立スポーツ施設の整備等による県民スポーツの推進、ジュニア期からの一貫指導体制の確立や競技力を支える人材の養成等による世界に羽ばたく選手の育成のほか、国際スポーツ大会の誘致やラグビーワールドカップ2019のレガシー継承など、スポーツによる地域の元気づくりを進める。

【Ⅲ. 政策を構成する施策の評価結果】

	施策名	指標評価	総合評価
1	県民スポーツの推進	著しく不十分	C
2	世界に羽ばたく選手の育成	著しく不十分	C
3	スポーツによる地域の元気づくり	著しく不十分	C

【Ⅴ. 政策を取り巻く社会経済情勢・今後の動向】

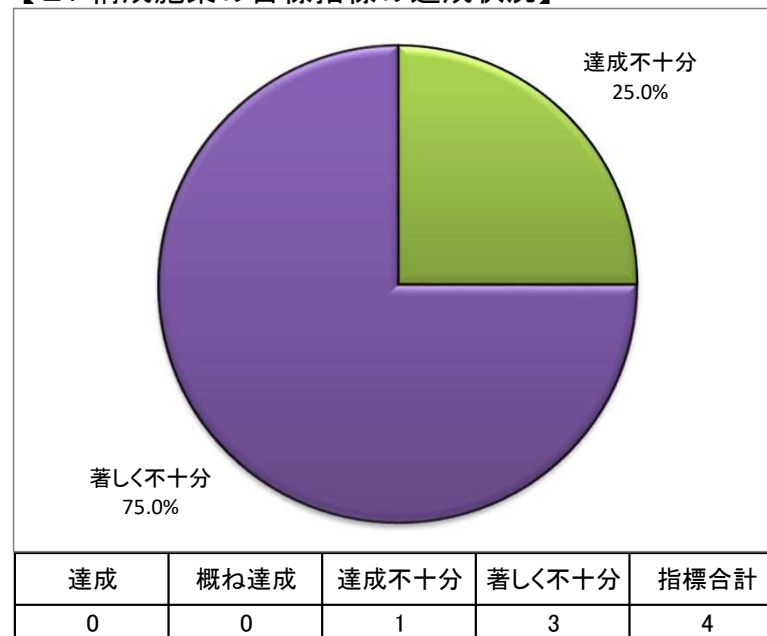
本県における成人のスポーツ実施率は50%以下となっており、特に働きざかり世代では全国平均を30代で20%以上、40代では10%以上下回る状況にある。県民が心身の健康の保持・増進を図り、健康で活力に満ちた生活を送ることができるよう、ライフステージに応じたスポーツを推進する必要がある。

県立武道スポーツセンター等を積極的に活用することにより、より多くの県民が生涯にわたり日常的にスポーツに親しめるよう、今後もスポーツ環境を整備していく必要がある。

また、東京2020オリンピック・パラリンピックや各種国際大会において、本県出身選手の活躍を期待する声が高まっている。優れた才能を持ったジュニア選手を発掘し、長期的視点に基づいた一貫指導体制による育成・強化が必要である。

県内のプロスポーツチームやスポーツイベントなどの地域資源を活用し、県民のスポーツへの関心拡大とスポーツに親しむ機運の醸成、スポーツ参画人口の拡大を図る必要がある。

【Ⅱ. 構成施策の目標指標の達成状況】



【Ⅳ. 評価が著しく不十分となった指標】

指標名	達成率
総合型地域スポーツクラブの会員数(万人)	77.8%
国際大会出場者数(人)	2.1%
合宿等受入人数(人)	36.3%

<著しく不十分となった理由>
 新型コロナウイルスの影響による活動の制限や大会の中止により、目標値を達成できなかった。
 総合型地域スポーツクラブについては、Webプログラムの配信等により、新たなスポーツ環境を創出するとともに、地域に特性を活かしたシンボリックプログラム等を通じ、魅力ある運動プログラムを提供する。
 国際大会出場については、優秀選手の競技環境の確保を目指した就職支援の強化や、優れた資質を有するジュニア選手の発掘育成の強化により、世界に通じる優秀選手(県選抜選手)の重点的・継続的な競技力の向上を推進する。
 合宿等受入については、プロ、実業団、大学等の日本トップチームの合宿を積極的に誘致することにより、西日本有数の合宿地として知名度を上げ、スポーツ合宿の裾野を広げる。